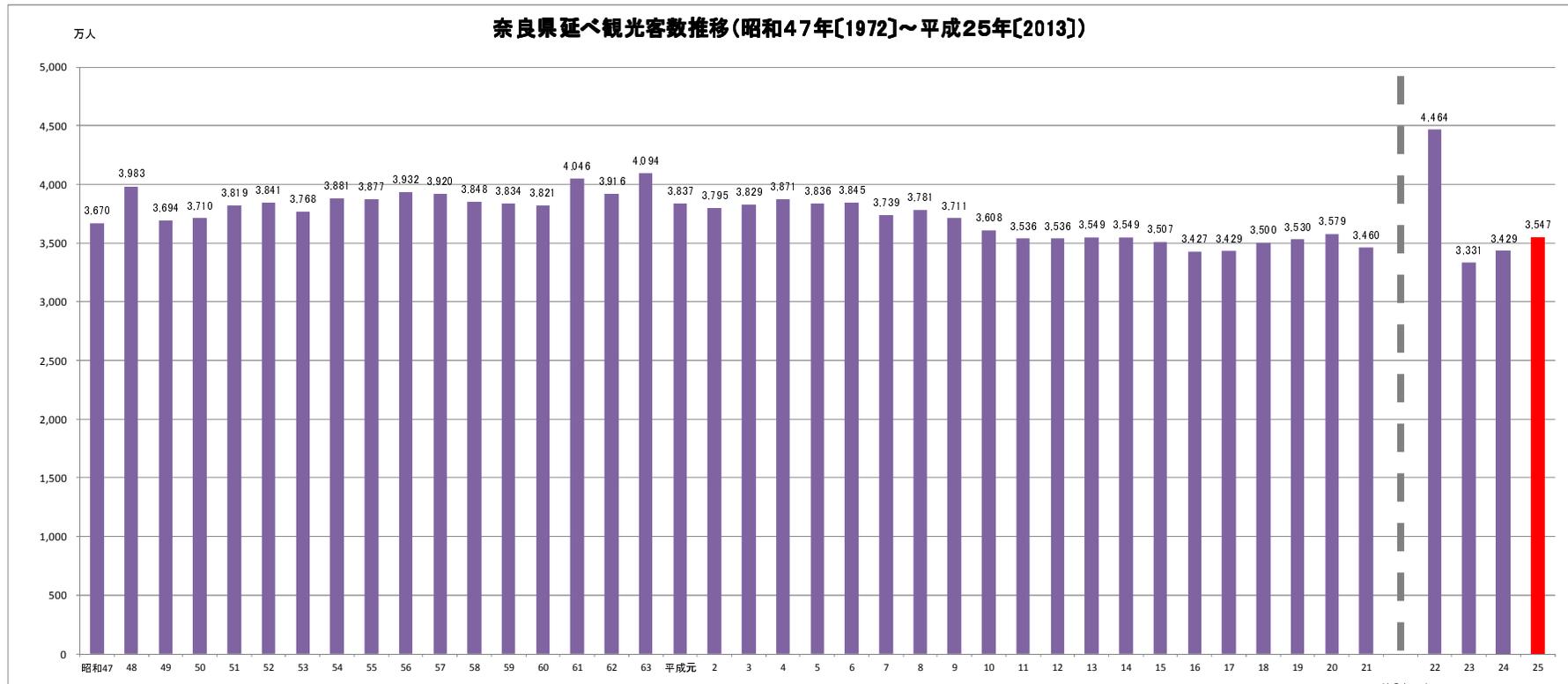


# 奈良県観光客動態調査報告書

平成25年(1月～12月)

奈良県観光局観光産業課

# 1. 奈良県への観光客数(年別)

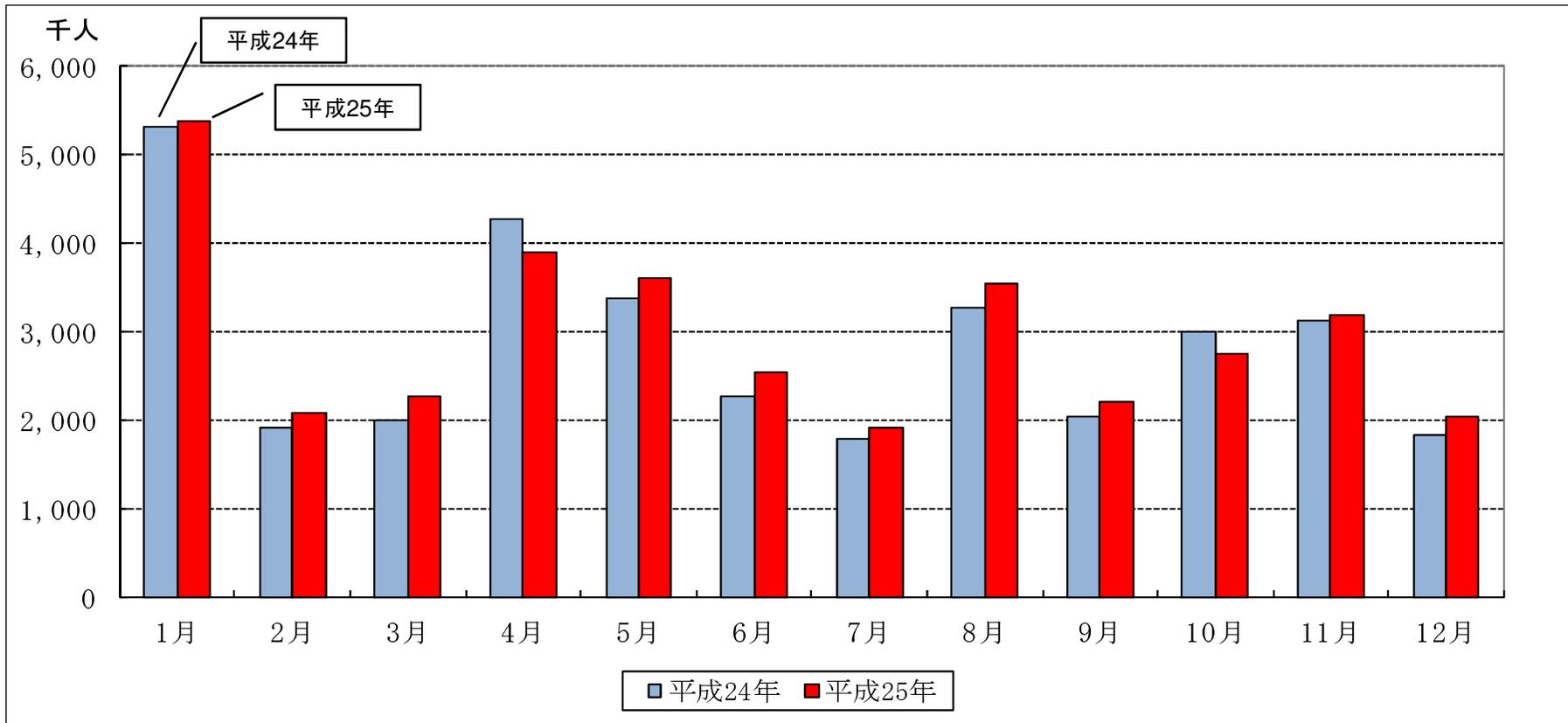


(※1)

・平成25年1月~12月の奈良県観光客数は約3,547万人で、前年(平成24年)比118万人、3.5%増加。

※1 平成22年4月から観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に準拠し推計。それまでの各県独自の推計方法による調査から、観光地点の定義、調査方法等について全国統一の基準を採用し、他府県との比較が可能となった。従前は、地域ごとに入込客数の伸び率を算出し前年の数値に乘じる方法だったが、現在は観光地点やイベントごとの入込客数を調査、集計する方法に変更。

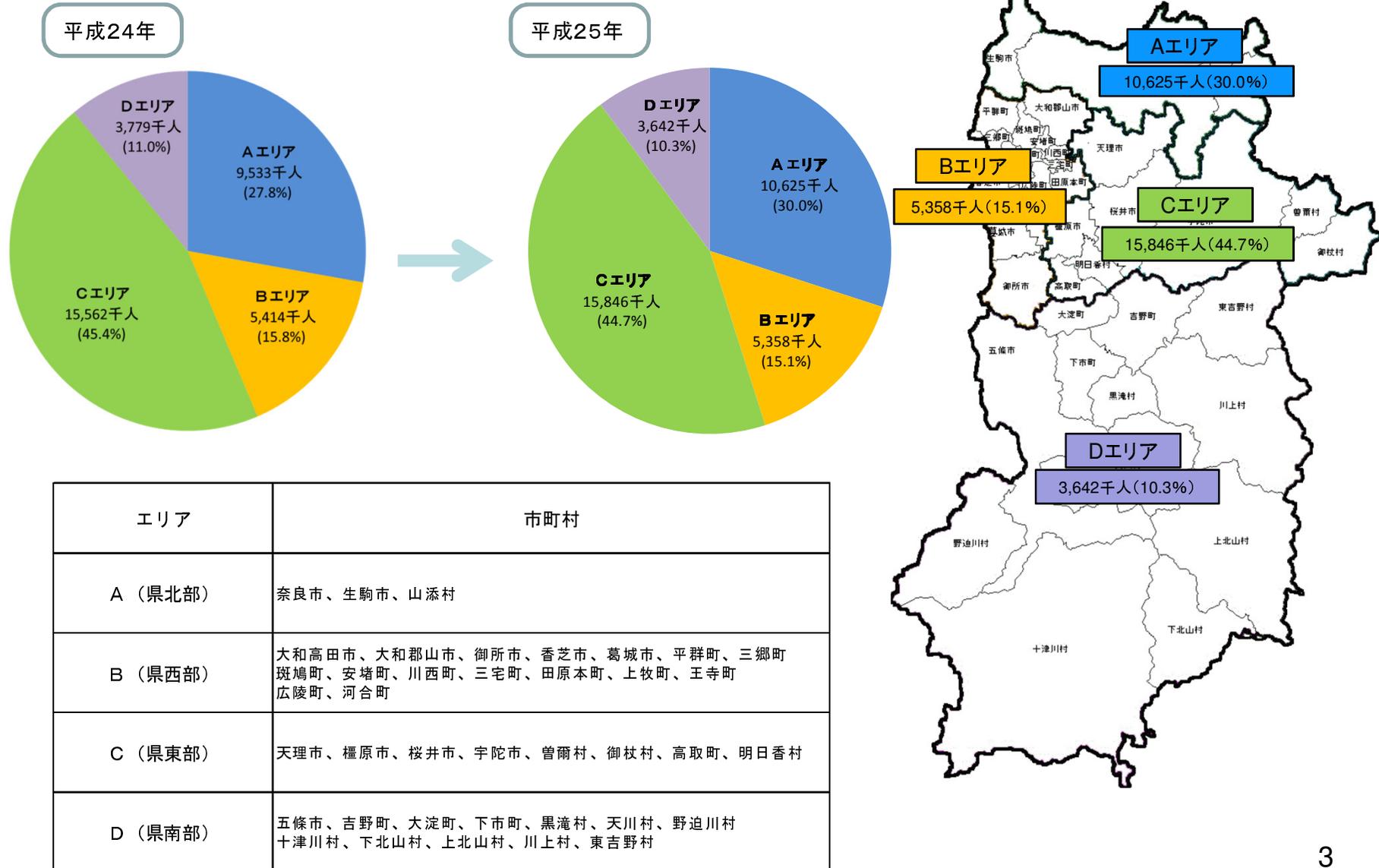
## 2. 奈良県への観光客数(月別)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成24年	5,324	1,930	1,999	4,281	3,373	2,273	1,799	3,286	2,046	3,005	3,128	1,844
平成25年	5,376	2,093	2,268	3,911	3,605	2,552	1,916	3,546	2,213	2,762	3,190	2,039
対前年比	1.0%	8.4%	13.5%	-8.6%	6.9%	12.3%	6.5%	7.9%	8.2%	-8.1%	2.0%	10.6%

- ・4月と10月を除く月で増加。
- ・例年、2月、7月、12月は観光客が少なく、オンとオフの差が大きい。

### 3. 奈良県への観光客数(エリア別)

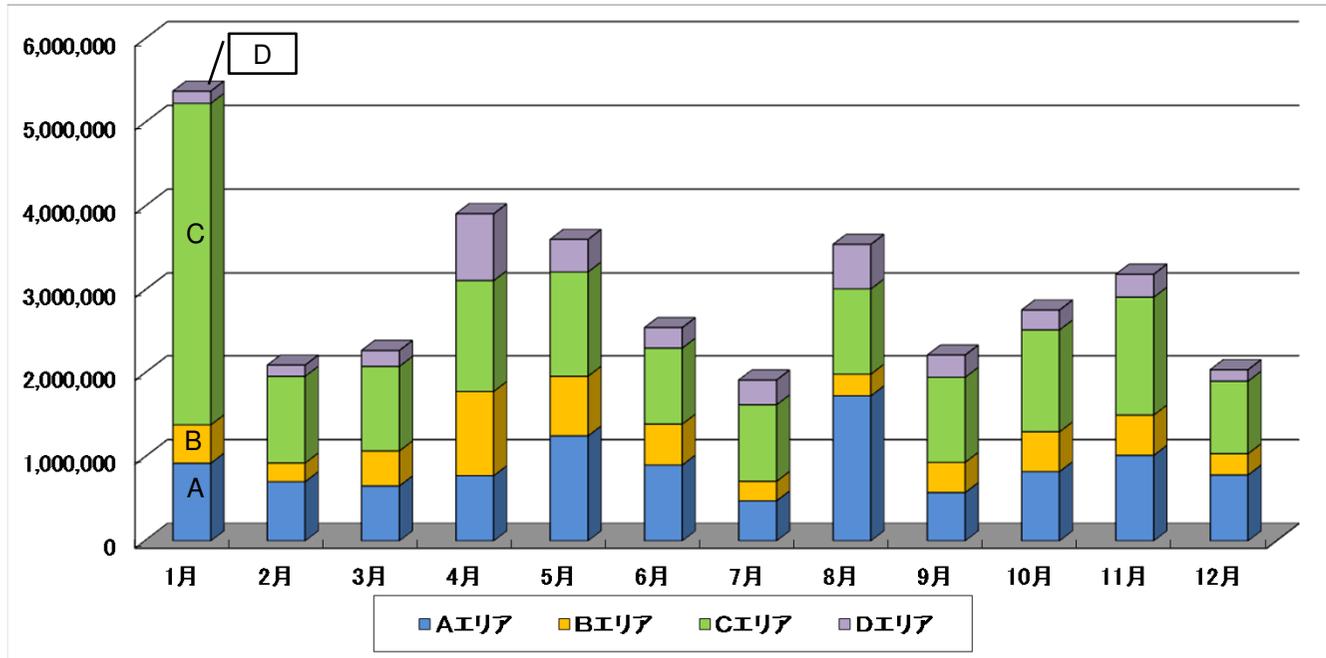


## 4. エリア別観光客数と主な増減理由

単位:人

	平成24年	平成25年	前年比	主な増減理由
Aエリア	9,533,000	10,625,000	11%	多くの観光地点で増加した。訪日外国人が平成23年以降増え続けており、奈良県への外国人訪問客数も増加していることが要因と思われる。また、6月のムジークフェストや8月のなら燈花会、12月の奈良マラソンも賑わいをみせ、前年より増加した。
Bエリア	5,414,000	5,358,000	-1%	奈良国立博物館で行われた當麻寺特別展（平成25年4月6日～6月2日）の影響で増加した地域もあったが、入込が減少している社寺も多く、エリア全体としてはやや減少した。
Cエリア	15,562,000	15,846,000	2%	入込が増加した社寺が多かった。安倍文殊院（桜井市）の文化財が国宝に指定された影響もあったと思われる。一方、山間地域では、10月を中心に台風の影響を受け入込が減少した。
Dエリア	3,779,000	3,642,000	-4%	桜の見ごろ期間が短かったことや、前年は春、秋に行われた金峯山寺の特別開帳が、平成25年は春のみであったことが減少の要因と思われる。また、秋には台風の影響を受け、入込が減少した地域が多かった。一方、プロモーション効果などにより、平成23年の紀伊半島大水害から徐々にではあるが、観光客が戻りつつある。

## 5. エリア別・月別観光客数



エリア	市町村
A	奈良市、生駒市、山添村
B	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村
D	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

(単位:人)

月 エリア	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A	925,000	705,000	655,000	776,000	1,250,000	904,000	477,000	1,728,000	576,000	825,000	1,019,000	785,000	10,625,000
B	457,000	223,000	417,000	1,004,000	711,000	487,000	233,000	258,000	360,000	474,000	480,000	254,000	5,358,000
C	3,849,000	1,033,000	1,007,000	1,334,000	1,256,000	906,000	912,000	1,029,000	1,013,000	1,226,000	1,417,000	864,000	15,846,000
D	145,000	132,000	189,000	797,000	388,000	255,000	294,000	531,000	264,000	237,000	274,000	136,000	3,642,000
計	5,376,000	2,093,000	2,268,000	3,911,000	3,605,000	2,552,000	1,916,000	3,546,000	2,213,000	2,762,000	3,190,000	2,039,000	35,471,000

・1月のCエリアは、初詣を中心に380万人を超える入込。4月は桜の名所があるB、C、Dエリアを中心に観光客が増える。また、8月は、なら燈花会などのイベントが開催され、Aエリアの観光客が多くなる。

## 6. 観光入込客数(実人数)及び観光消費額の推計結果

(観光庁の「共通基準による観光入込客統計調査」に基づく)

### (1) 観光入込客数(実人数)

(単位:千人回)

	計	うち宿泊客	うち日帰り客
平成25年	19,848	2,182	17,666
平成24年	19,364	2,059	17,305
対前年比	2.5%	6.0%	2.1%

### (2) 1人あたり観光消費額

(単位:円)

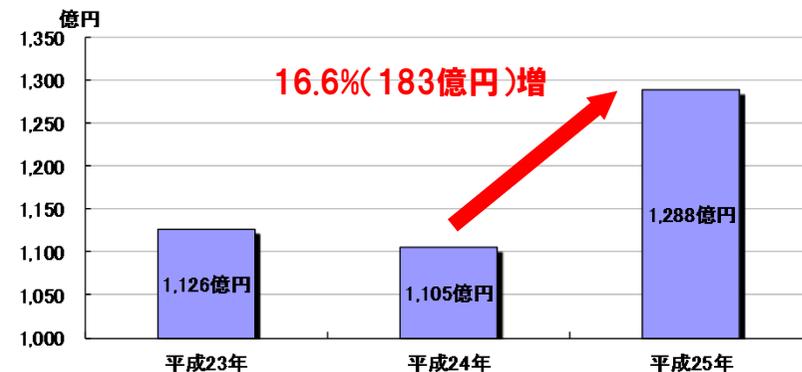
	奈良県		全国平均	
	宿泊客	日帰り客	宿泊客	日帰り客
平成25年	26,577	4,009	27,689	5,823
平成24年	22,549	3,703	27,061	5,496
対前年比	17.9%	8.3%	2.3%	5.9%

平成26年7月31日とりまとめ時点

### (3) 観光消費額の推計結果

(単位:百万円)

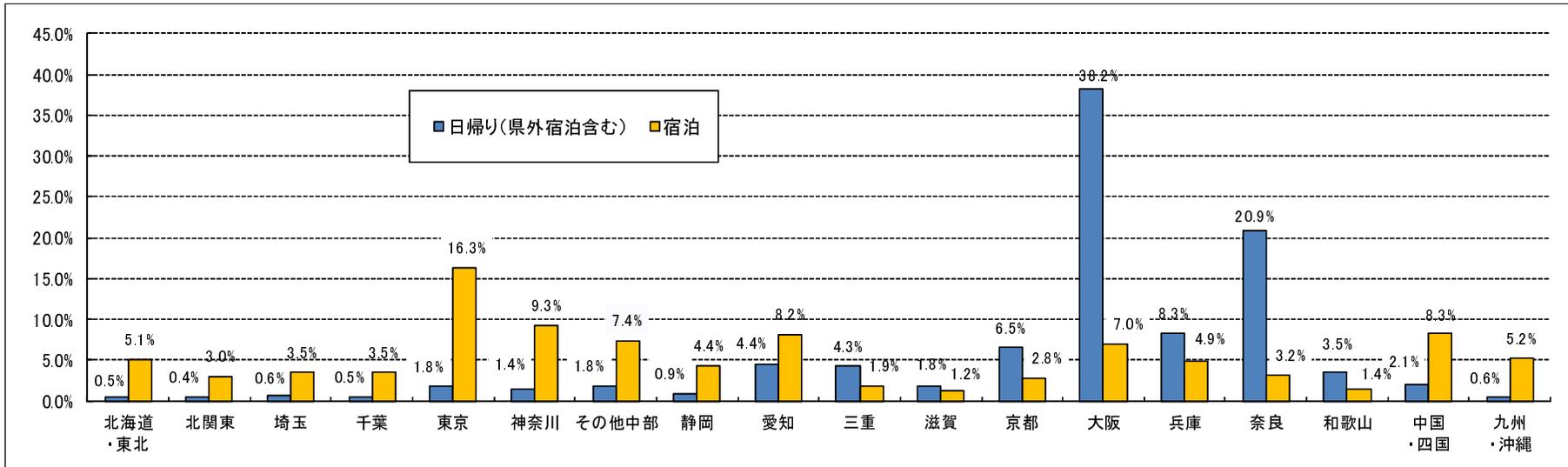
	計	うち宿泊客	うち日帰り客
平成25年	128,810	57,991	70,819
平成24年	110,509	46,428	64,081
対前年比	16.6%	24.9%	10.5%



- ・平成25年の観光消費額は約1,288億円。
- ・観光入込客数の実人数は日帰り客が占める割合が多く、宿泊客、日帰り客ともに前年より増加している。
- ・観光消費額単価は、宿泊客、日帰り客ともに前年より高くなっている。

# 7. サンプル調査に基づく来訪者の発地

(平成25年1月～平成25年12月調査 実サンプル数 3,672件)



区分	北海道・東北	北関東	東京圏				中部圏				近畿圏						中国・四国	九州・沖縄	その他とも計
			埼玉	千葉	東京	神奈川	その他中部	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山			
日帰り	0.5%	0.4%	0.6%	0.5%	1.8%	1.4%	1.8%	0.9%	4.4%	4.3%	1.8%	6.5%	38.2%	8.3%	20.9%	3.5%	2.1%	0.6%	100.0%
宿泊	5.1%	3.0%	3.5%	3.5%	16.3%	9.3%	7.4%	4.4%	8.2%	1.9%	1.2%	2.8%	7.0%	4.9%	3.2%	1.4%	8.3%	5.2%	100.0%
計	0.8%	0.6%	0.8%	0.7%	2.9%	2.0%	2.3%	1.1%	4.7%	4.1%	1.8%	6.2%	35.9%	8.1%	19.6%	3.4%	2.6%	0.9%	100.0%

- ・日帰り観光客は近畿圏からの来訪者が79.2%を占め、最も多いのが大阪府の38.2%、次いで奈良県の20.9%、兵庫県の8.3%。
- ・宿泊観光客は東京圏がトップの32.6%を占め、次いで中部圏の21.9%。(参考:平成24年値 東京圏33.2%、中部圏21.5%)

※回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。

地域ブロック	都道府県						
北海道・東北	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
北関東	茨城県	栃木県	群馬県				
その他中部	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県

地域ブロック	都道府県								
中国・四国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
九州・沖縄	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	

## 調査対象・推計方法

### 調査対象

- ・「観光地点」及び「行祭事・イベント」

観光地点については次の①～③に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については②及び③の要件を満たすものを集計対象とする。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。(なお、調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、集計の対象とする。)

### 推計方法

- ①「観光地点等入込客数(延べ人数)調査」

四半期ごとに市町村が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に入込客数を調査し、県が集計する。

- ②「観光地点パラメータ調査」(サンプル調査)

県内10箇所の観光地点において四半期ごとに、層性別の構成比(観光目的、ビジネス目的、訪日外国人、県外客、県内客、宿泊客、日帰り客等)、訪問地点数、観光消費額単価等についてアンケート調査を行う。

- ③上記の①及び②の調査で得たデータを基に、観光入込客数(実人数)、観光消費額を推計する。